

|                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                    |
|------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <h1>はなもも</h1>                                        | <p>第15号 (安達支部担当)</p>                                                                                                                                                                                                                               |
| <p>発行日 令和7年3月1日<br/>発行 福島県退職公務員連盟<br/>県北連絡協議会女性部</p> | <p>今<br/>回<br/>の<br/>内<br/>容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆女性部長から (女性部長としての4年間)</li> <li>◆副支部部長から (仲間と共に活動できる幸せ)</li> <li>◆令和4年度の行事 (絵手紙講習会)</li> <li>◆令和5年度の行事 (和紙でバラ作り教室)</li> <li>◆令和6年度の行事 (そば打ち体験教室)</li> <li>◆会員の作品</li> </ul> |

## 女性部長としての4年間

安達支部女性部長 伊東 祐子

女性部長を仰せつかり、今年度で4年が過ぎようとしています。女性部の会員の皆様、お元気でお過ごしのことと存じます。コロナ禍を経て思うことがあります。玄関を出て気兼ねなく深呼吸したり、笑ったり、おしゃべりしたり、自然なことが自然にできることがこんなにも「幸せ」なんだということです。

安達支部の令和4年度から令和6年度までの3年間の活動を紹介させていただき、「はなもも第15号」の報告といたします。(安達支部だけの活動だけにしました)

また、今年度から年1回3月に発行することになりましたことをご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

令和4年度からの活動再開「絵手紙講習会」では、会員が全員マスク着用、入り口で消毒しての活動でしたが、5年度の「紙でバラ作り教室」6年度になり、まだまだ新型コロナウイルス、インフルエンザ流行は心配ではありましたが、コロナが5類になったことを受けてマスク無しでの活動ができるようになりました。今年度の「絵手紙作成」には、福島支部から4名の皆様が参加され楽しい有意義な研修会になりました。

これからも会員の皆様との親睦を図るため楽しい活動を計画し、色々な活動にも参加し、有意義な日々を過ごしていけたらと思っています。

## 仲間と共に活動できる幸せ

安達支部副支部長 原瀬久美子

2025年、新春を迎えました。

コロナ禍もようやく落ち着き、日常の生活が少しずつ戻りつつあり、うれしく思います。

私は、コロナ禍にあっても女性だけの施設 (Curvus) に、週5日通って、体力の維持に努めてきました。お陰で、家にこもることなく、多くの仲間と出会うことができました。

また、自治川柳教室に参加し、頭がボケないよう努力しています。講師の先生は月1回埼玉から本宮市にお出でになり、作品の添削をいただいています。作品を作るには日頃から新聞を読み、世の中の出来事、様子を知ることが大切と考え、参加しています。

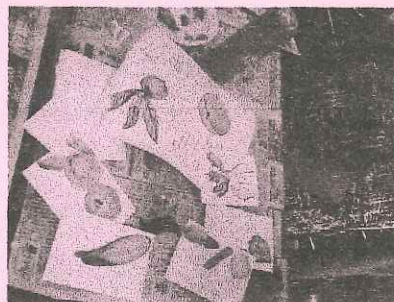
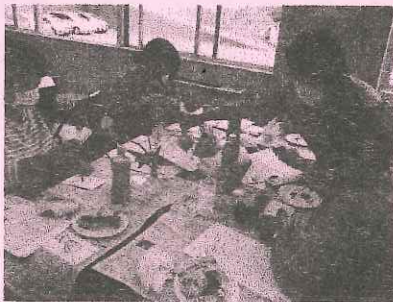
さらに、以前は合唱サークルで活動していましたが、コロナ禍により、中断することにより、残念でなりません。何のサークルでもよいですが、仲間と共に活動できる事は、とても大切に幸せなことだと考える日々です。とりわけ、退公連安達支部においての活動は、充実しています。様々な行事の立案、協議、実行のプロセスを通じて、仲間とつながり活動できる幸せをしみじみ感じている今日この頃です。



## 令和4年度女性部会（絵手紙教室）

令和4年7月16日（土）今年度の第1回女性部会が、研修旅行同様こちらも3年ぶりに開催されました。内容は、会員でもあります小幡美紀子先生を講師に迎えての「絵手紙作成」の実習講座でした。

参加者は執行部の男性を含め12名で、ほとんどが初心者で絵筆を持つのも何十年ぶりという諸氏に対し、初めに小幡先生から「絵手紙の特徴」のお話を頂きました。『手書きの絵手紙には、温もりがあり、受け取った人が幸せを感じたり、ほっこりさせられたりします。題材も身近な物でよく、葉書文なので、手軽に短時間に描けます。そして何より「へたでいい、へたがいい」で個性的に仕上げるのが大切です。』というお話を聞いて安心して取りかかり悪戦苦闘の末、90分間集中力を切らさず頑張り、その結果が作品に現れました。来年も「またやりたい」と期待が膨らむ女性部会でした。



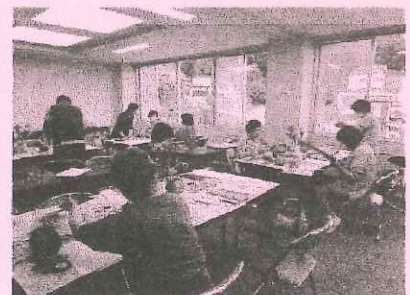
## 令和5年度女性部会（バラ作り教室）

令和5年7月15日（土）二本松福祉センターで



10名が参加し、講師は会員の三浦正子先生にお願いし「和紙で作るバラ作り教室」を開催しました。講師の先生からは、花びら・葉・茎の部分の作り方を順番に説明して頂き、制作に取りかかりました。うまくいかないところは先生の手助けを請いながら時間を忘れ楽しんで作りました。「不器用な私でも完成することができてよかった」「真っ赤なバラを玄関に飾りたい」等の感想を参加者から頂きました。

真っ赤なマイバラ（モノクロですみません）を手に記念撮影



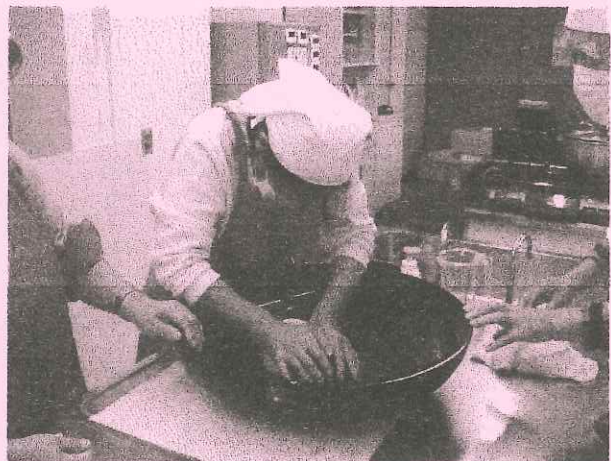


# 令和6年度女性部会(そば打ち体験教室)

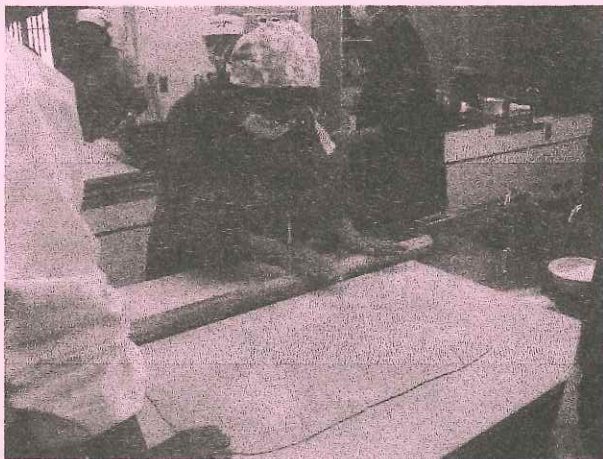
令和6年12月7日(土) 安達公民館で



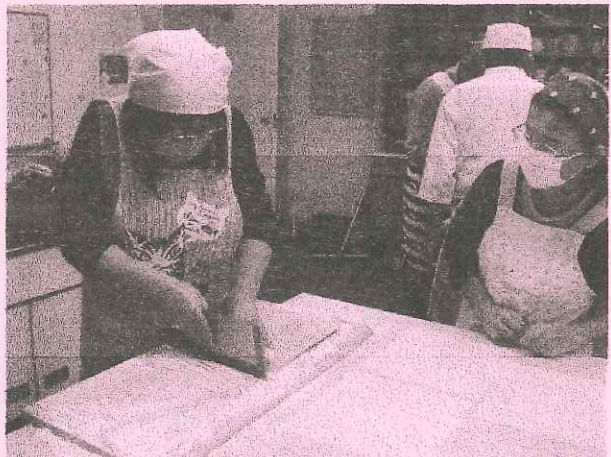
みんなで水回しをする



力を入れて練る



そばをのし棒を使って延ばす



包丁を使って切る



切ったそばをゆでる



みんなで美味しく食べる

そばができあがるまでを写真を基に説明しますと、水回しをする→練る→延ばす→切る→茹でる→食べる。

安達地区では、「そば打ち体験教室を」を新そばができる12月に、年金部と女性部共催で行っています。今年度は、男女併せて15名の参加で半日行事で行い、和気藹々と楽しく美味しい会になりました。



# 会員の作品

(3名の方々の俳句、川柳、絵手紙の作品です)

## 俳句

「冬に入る」  
渡邊三子  
(八五歳)

○ 安達太良や連山ことごとく冬に入る

○ 山茶花の落花の並びああ美しき

○ シクラメンの鉢植えとどく真昼かな

○ カーテーンを開けて冬日を鉢植えに

○ 枯露柿の粉を愛でつつ包み解く

○ ぶんぶんとあぶを引き寄せ  
ハツ手咲く

○ 十二月八日苺ことごとく甘し

○ 十二月八日あの日私まだ二歳

○ 唯一の馳走今宵は根深汁

○ 強霜や夫逝きて早や四年

○ 初場所や「かたや」「こなた」  
と神々し

○ 安達太良の峯端正や小正月

## 時事川柳

原瀬久美子

○ 皇居では一般参賀蟻の列

○ 各地では幸せ浴びる初日の出

○ トランプ氏米国主義の高い壁

○ 青学が王者の地力優勝し

○ 能登地震一年がたち追悼し

○ 日本が高齢化率世界一

○ 少子化が日本の未来危うくし

○ 五類でもマスクが強くしがみつ

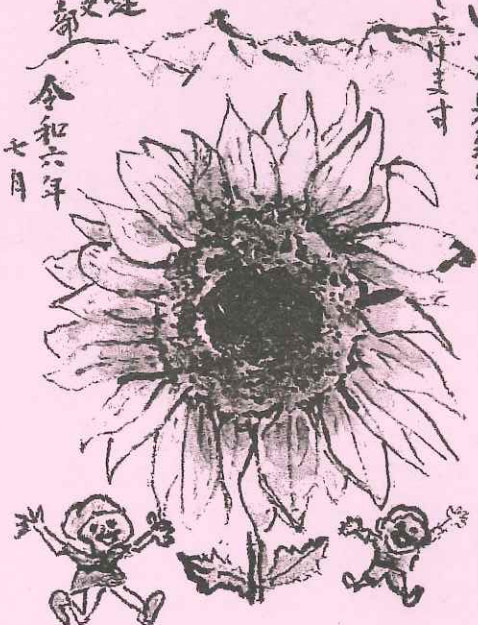
○ 核のごみ最終処分難航し

○ 3党が年収の壁塗りかえる

(時事川柳とは、今起きていることを作る)

暑中お見舞  
申し上げます

退公連  
安達吏部  
令和六年  
七月

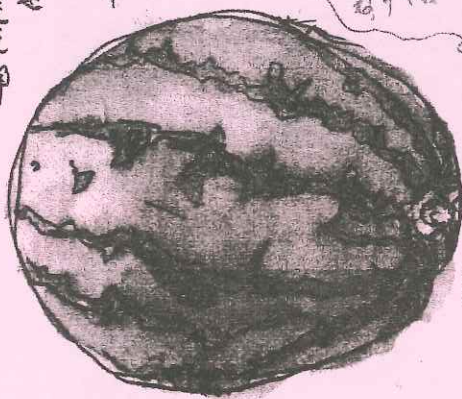


暑中お見舞  
申し上げます



令和  
五年  
八月

退公連  
安達吏部



小幡美紀子の作品